

美術科 1年

広がる模様の世界 ～特徴をとらえて構成する～

担当 矢治朋恵

【活動の目標】

自然物の形や色彩の特徴に着目し、美しさなどをとらえ構成を考えデザインすることができる。

【 問 い 】

- ・アイデアスケッチのサイズを小さく設定することで、何度も描き直したり、複数描いたりすることへの抵抗をなくし構想を練ることに集中させる。（「問い」の工夫Ⅰ）
- ・鉛筆描きしたアイデアスケッチを写真に撮り、Chromebook で複数コピーしたパーツを様々なパターンで並べ替えることで、見え方や感じ方の変化を感じ取り、デザインに反映させることができる。（「問い」の工夫Ⅱ）

今回 ICT を活用した場面	従来 の 活動
B2 調査活動 デザインテーマが「植物」だったので、自分が表したい花や種目、風景などを画像検索してアイデアスケッチを行った。	授業前までに家庭などで調べ学習をするか、美術室にある写真資料集といった限られた範囲で調べていた
B4 表現・制作 鉛筆描きのアイデアスケッチを写真に撮り、Chromebookのスライドソフトを使って、複数コピーして回転・反転させたり、並べ替えたりした。	手書きで複数枚描いたものをハサミで切り取って並べる。
C1 発表・話し合い 出来上がった作品を相互鑑賞をするさい、データをそれぞれの手元で見ることができる。	出来上がった作品を見せ合いながら相互鑑賞を行う。

【資料】 作品例

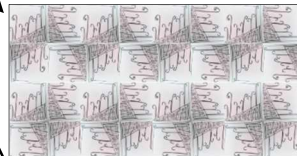
○アイデアスケッチ



パターン 1



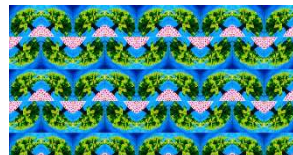
パターン 2



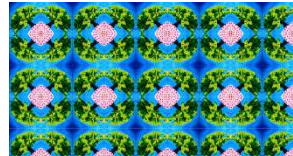
パターン 3



パターン 1



パターン 2



パターン 3

○着色した作品



【ICT 機器を活用する良さ】

- パターンをデザインする場合、手書きで複数枚制作する必要があり、手間も時間もかかるので、生徒にとっては負担も大きな題材だった。また、最終段階での複製になるので、その前の段階で構想を練るには想像するしかなかった。Chromebook を使うことで、アイデアスケッチの段階で、パターン化して並び替えまで視覚的に比較できるのは大きな利点である。
- 手描きで書いた図案を写真に撮ると、トリミングすることで違った見え方になるので、1つの図案からでも発想が広げやすい。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・機器を扱うことに不慣れなので、操作の方に気をとられてしまい、手描きでアイデアを考えることが深まらない場合もあった。
⇒原因
操作に夢中になるので、アイデアスケッチを描く時間が曖昧になってしまった。
⇒改善案など
手描きでアイデアスケッチをする時間を十分確保して、手描きの時間と、Chromebook を使って構想を練る時間を明確にする。